

第10回勝山市生活交通地域協議会次第

(平成29年度 第1回)

日時 平成29年6月5日(月)

勝山市地域公共交通会議終了後

場所 勝山市役所3階 第2・3会議室

1. 報告事項

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の
二次評価結果について **【資料1】**

2. 議題

平成30年度生活交通確保維持改善計画のローリング **【議題1】**

3. その他

地域内フィーダー系統 事後評価要約版(28年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価	※参考付記
		事業概要		第三者評価委員会における 主な委員コメント
		自己評価		
		勝山市地域公共交通会議		
福井	37	北郷予約便、平泉寺・猪野瀬予約便	<p>運行形態の転換にあたり、市内の路線図や時刻表、予約便の利用方法を記載した冊子の作成・配布、地元団体とワークショップを実施するなど、公共交通の利用促進に向けて様々な取り組みを行ったことについて評価します。</p> <p>利用者数について現状に見合った目標値を設定するとともに、利用方法等のさらなる浸透・定着を図ることにより、利用者利便の向上につながることを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館への直通運行路線等はえちぜん鉄道のフィーダーとして機能していることがわかる資料として整理してほしい。 ・えちぜん鉄道の網形成計画の目標値の達成状況についても記載すべきではないか。 ・市民や読み手に配慮した記載内容としてほしい。えちぜん鉄道の網形成計画とどのようにリンクしているかわからない。 ・「ワークショップ」に参加した結果として見えたことや次への展開まで記載していただきたい。 ・文章ではなく、箇条書きにすれば伝わりやすくなる。 ・補助路線だけでなく、ネットワーク全体の評価体系を踏まえた記載としていただきたい。
		<p>【北郷予約便】利用者数は4,014人となり、目標値である1,500人を上回った。</p> <p>【平泉寺・猪野瀬予約便】利用者数は3,835人となり、目標値である1,000人を上回った。</p> <p>・共に目標値を上回ったため、現状に見合った目標値を設定するとともに、分かりやすい乗換時刻表等の作成やワークショップの開催などの取り組みを進め、今後も将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めていく。</p>		

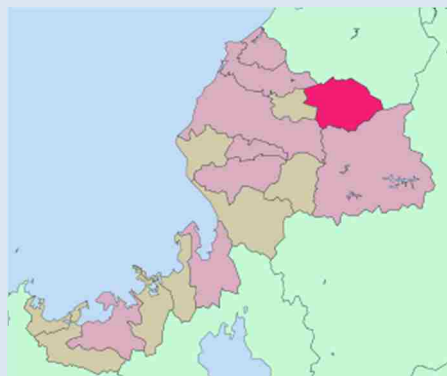
1. 協議会が目指す地域公共交通の姿

【勝山市の基礎データ】（平成 27 年国勢調査人口等基本集計）

人口；24,125 人 面積；253.88 平方キロメートル
世帯数；7,703 世帯 高齢化率；33.96%

【地域の特性】

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約 28km の地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。市の周辺は、1,000m 級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。



【勝山市の公共交通概要】

鉄 道；えちぜん鉄道 勝山永平寺線
フィーダー；勝山市 コミュニティバス（10 路線）

バス幹線；京福バス 勝山大野線（1 路線）

福井勝山総合病院を起点に、市の中心地として市役所、商業施設、医療施設等が立地する市道 7-89、7-165 および一般県道勝山停車場線沿線を通りえちぜん鉄道勝山駅前を經由して、隣接する大野市まで伸びる路線バス 1 路線（1 系統）と、えちぜん鉄道勝山駅から放射状にコミュニティバスを運行し、路線バスやえちぜん鉄道と結節させている。

【計画の目標および期間】

目標；クルマに過度に依存した交通状況から脱却し、公共交通の利用拡大を目的とする。
期間；平成 23 年度から平成 32 年度

【公共交通の将来像】

第 5 次勝山市総合計画

『人にやさしい交通体系の確立』

■基本的な考え方

各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図ります。

〔改訂〕勝山市都市計画マスタープラン

『人にやさしく生活を支える交通環境づくり』

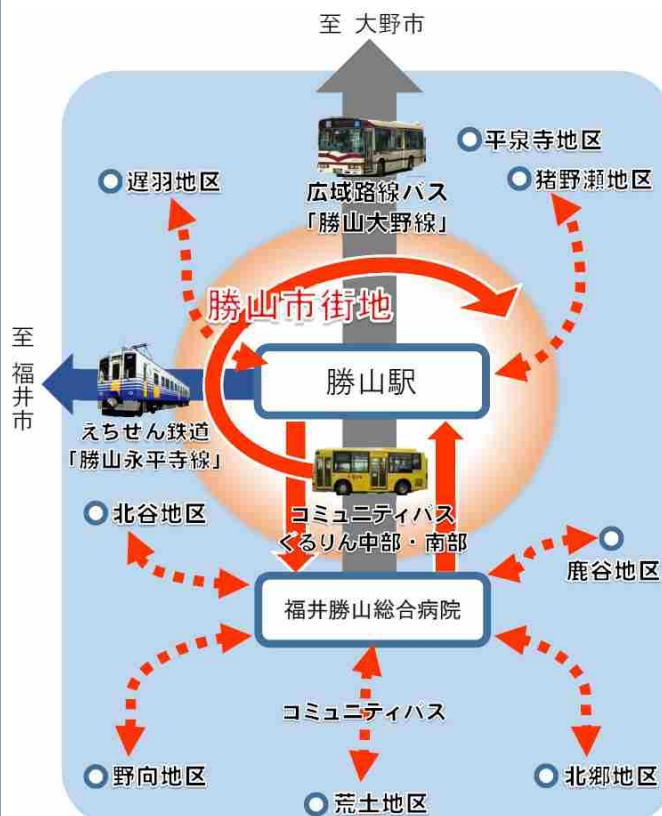
■基本的な考え方

えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図ります。

〔その他の計画〕

- ・勝山市地方創生総合戦略
- ・えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

勝山市公共交通ネットワークイメージ図



2. 計画の達成状況の評価に関する事項

達成目標	評価指標	把握方法
人にやさしく生活を支える 交通環境づくり	市内バス年間利用者数 ・平成 27 年 73,000 人 ・平成 32 年 69,000 人	利用者実績（事業者資料）

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

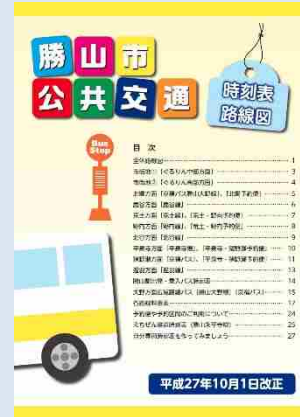
平成 27 年度の取組み

①勝山市公共交通時刻表・路線図の作成

- ・市内のバス全路線（京福バスを含む。）を 1 冊にまとめ、市内全世帯に配布（約 7,000 部）
- ・鉄道との乗り継ぎ利便性向上のため、勝山駅に乗り入れするバスの時刻表およびえちぜん鉄道勝山永平寺線の時刻表を掲載。
- ・利用者が多い「福井勝山総合病院」および「温泉センター水芭蕉」の停留所専用の時刻表を掲載。
- ・「予約便の利用のしかた」を掲載。

②地域公共交通会議の開催

- ・地元住民のニーズや効率のよい運行を目指して、全路線において大幅なダイヤ改正を行った。また、観光路線である「恐竜博物館直通便」の運行を開始した。



時刻表・路線図

平成 28 年度の取組み

①「ケア・ブレイクかっちゃんま」においてワークショップを開催

- ・ケア・ブレイクかっちゃんま（高齢者ケアに関するニーズを医療、介護、福祉の分野だけでなく建築、商業などの事業者や市民も巻き込んで掘り起こし事業化を目指している任意団体）が「未来の勝山の交通を考えよう！」というテーマでワークショップを開催し、勝山市の交通システムについて多職種の方たちと語り合った。



▲ケア・ブレイクかっちゃんま
でワークショップ

②「お守りファイル」に「マイ時刻表」を綴じ込み

- ・ケア・ブレイクかっちゃんまが要支援者に配布している「お守りファイル」に、自分専用のバス時刻表を記入することができる「マイ時刻表」を作成し綴じこんだ。
- ・高齢者の利用が多い病院や温泉等の停留所を考慮し、乗継を想定しないシンプルな様式にし、文字が大きく書けるようにした。



マイ時刻表

③バス停留所位置図およびルートウェブ公開

- ・GoogleMap でバス停留所およびルートのマイマップを作成し、勝山市ホームページで公開した。

④バス停留所に路線図を掲示

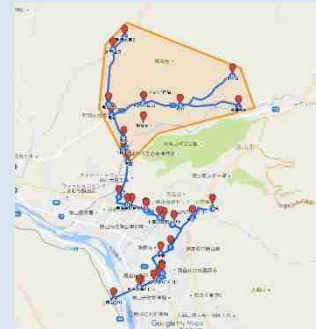
- ・市内のバス停留所の一部に所要時間を記載した路線図を掲示した。

⑤京福バス併設停留所のサインの統合

- ・京福バスの停留所と併設されている市コミバスの停留所を 1 本に統合し、輻輳を解消した。

⑥地域公共交通会議の開催

- ・地元住民のニーズによりコミュニティバス「ぐるりん中部」「平泉寺線」「遅羽線」の時刻等を変更。また、観光路線である「市内観光バス」の路線等の見直しを行った。



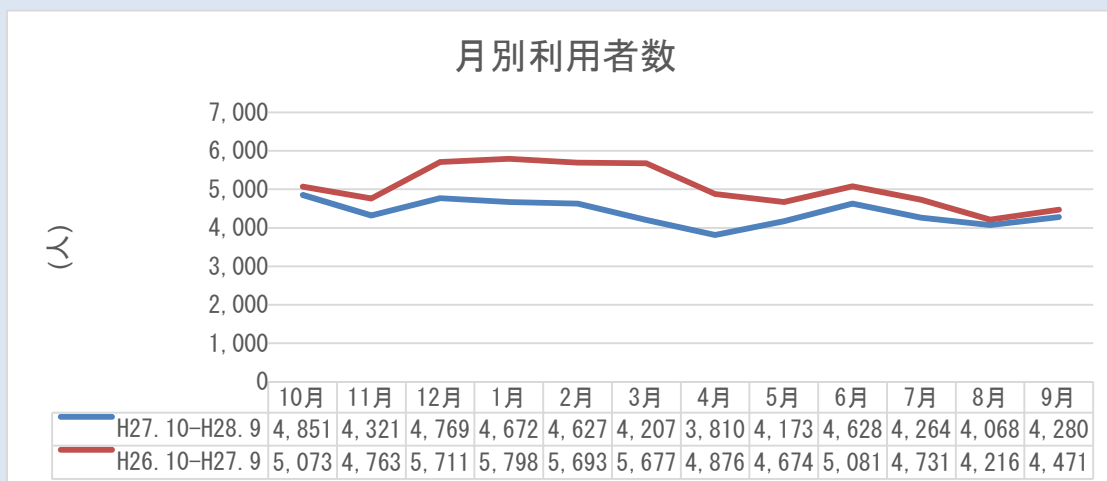
グーグルマップ

4. 具体的取組みに対する評価

(1) 勝山市コミュニティバスの利用実績

利用人数（人）	H27.10-H28.9	H26.10-H27.9	比較	備考
ぐるりん中部	8,863	16,100	-7,237	温泉センター水芭蕉の休業による減(H28.1-H28.4)
ぐるりん南部	7,463	7,883	-420	
北谷線	6,142	6,416	-274	
平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便	7,238	9,145	-1,907	九頭竜ワークショップ、サンプラザ前の利用が減っている
遅羽線	3,193	3,164	29	
鹿谷線	12,256	13,955	-1,699	
北郷予約便	4,014	-	4,014	※路線新設
荒土線	577	781	-204	
荒土・野向予約便	2,252	2,152	100	
野向線	672	1,168	-496	
合計	52,670	60,764	-8,094	

※ぐるりん中部の利用人数は、勝山駅前および恐竜博物館前の乗車人数を除いた数値（観光客を除くため）



評価 次の要因によって利用者数が減少した。

- ・温泉センター水芭蕉の休業(H28.1-H28.4)がすべての路線で影響を及ぼし、営業再開後も利用者が戻っていない。
- ・記録的な暖冬によって降雪量が減少したため。
- ・人口減少や少子化による通学生の減少や、高齢者の免許証所有率の増加

(2) 観光路線の利用実績

利用人数（人）	H27.10-H28.9	H26.10-H27.9	比較	備考
観光バス（平泉寺方面）	1,298	1,060	238	
観光バス（恐竜博方面）	7,843	23,615	-15,772	H28.3 までで運行終了
恐竜直通便	15,485	-	15,485	H28.4 から運行開始
ぐるりん中部（恐竜博・勝山駅利用）	16,529	15,642	887	
合計	41,155	40,317	838	

評価 北陸新幹線の開業や福井県立恐竜博物館の来館者増により、利用人数は増加している。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

○平泉寺・猪野瀬予約便

- ・前年と比較すると、路線全域で利用者が減少している。
 - 区長会、老人会等で利用促進の説明
 - 広報誌等によるPR
- ・猪野瀬地区のバス停の利用者がほとんどない。
 - 区長会、老人会等で利用促進の説明
 - 広報誌等によるPR

○共通事項

- ・ニーズに即した運行改善
 - ニーズの把握
 - 利用しやすいタイヤ等の設定
- ・免許返納者の増加
 - 公共交通の利用方法の分かりやすいチラシ等の作成
- ・将来を見据えた公共交通による生活交通サービスの確保・維持
 - ケア・ブレイクの活動への積極的な関与
 - マイ時刻表作成サービスの実施
 - 分かりやすい乗換時刻表等の作成
 - 高齢者の利用が多い病院や温泉施設専用の時刻表等の作成

1. 直近の第三者評価の活用・対応状況

※直近の第三者評価結果を具体的にどのように反映したかについて記載

※評価年度では反映できていないが、今後反映していく予定のものについては“今後の対応方針”に記載

直近の第三者評価委員会における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針

2. アピールポイント

『予約便の利用のしかた』の作成・配布

平成 27 年 10 月 1 日に市内全路線を大幅に見直した際に作成した「勝山市公共交通時刻表・路線図」に、予約便の利用のしかたのページを作成した。平成 28 年 6 月に開催した第 27 回勝山市地域公共交通会議において、運行会社から作成したページが分かりやすかったとの報告があった。

『ケア・ブレイクかっちゃん』の活動に参加

ケア・ブレイクかっちゃん（高齢者ケアに関するニーズを医療、介護、福祉の分野だけでなく建築、商業などの事業者や市民も巻き込んで掘り起こし事業化を目指している任意団体）の活動に関わり、ワークショップへの参加や、ファイルにマイ時刻表を綴じこんだ。今後も継続していく。

予約便や予約区間のご利用について

平成27年10月1日から、市内バス路線で下記の「予約便」を運行します。各路線において予約が必要なバス停があります。
 「予約が必要なバス停」から市街地方面（勝山総合病院やサンプラザ、勝山駅等）へ行かれる際は、事前の予約が必要になります。

【予約の方法①】 予約の電話は
 北郷予約便、鹿谷線は ☎88-0534(勝山交通)へ
 荒土線、野向線、荒土・野向予約便は ☎88-0251(勝山タクシー)へ
 北谷線、遅羽線、平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便は ☎88-1331(大福交通)へ

【予約の方法②】 予約の流れは

①利用される方は各運行会社へ電話してください。
※各便予約は出発の2時間前までにお願います。



「ちょっと、買い物に行きたいから、FOO予約便」でいいから、運行会社へ予約の電話をしようかな!!

②ご自身の名前と乗りのバス停、乗りたい便をおっしゃってください。
はい、運行会社です。



「名前」ですが、OO予約便の「東二丁目」(遅羽線)の「F03」バス便」から乗りたいのですが。

③待ち合わせの時間とバス停をお知らせしますので、時間になったらバス停でお待ちください。
「F03」バス便」なら、「00時」の分」に待ってください。



わかりました。よろしくお願います。

④バスに乗ったら行先（降りるバス停名）を運転手に告げてください。
※勝山方面から降る場合は定時にバスが出ますので、予約は不要です。バス停で乗ったら行き先を教えてください。



運転手さん「F03」までお願いします。

※予約の時間になってもバス停にいない場合は出務します。
※予約をしたが乗らなくなった場合は電話をお願いします。

③

▲「予約便の利用のしかた」

平成 30 年度 生活交通確保維持改善計画
 (地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

平成 29 年 6 月 日

勝山市生活交通地域協議会
 会 長 松村 誠一

0. 生活交通確保維持改善計画の名称

平成 30 年度勝山市地域内フィーダー系統確保維持計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

勝山市の公共交通においては、福井勝山総合病院を起点として、市の中心地として市役所、商業施設、医療施設等が立地する市道7-89、7-165及び一般県道勝山停車場線沿線を通りえちぜん鉄道勝山駅前を経由して、隣接する大野市まで伸びる路線バス1路線（1系統）を中心として、えちぜん鉄道勝山駅前からは放射状にコミュニティバスを運行し、路線バスやえちぜん鉄道と結節させている。

このように、市民が生活する上で必要な公共交通機関が運行・維持されているものの、当市においてもモータリゼーションの進展及び夫婦共働きであるために免許証の取得率が高く、クルマが生活必需品となっている。また、商業・業務機能や公共公益施設等の点在化が進み、クルマに過度に依存したライフスタイルが市民の間に浸透、定着している。そして、少子高齢化が進行し、特に高齢者世代のみでの生活を余儀なくされる世帯では、交通事故の危険が増加することは理解しているも、クルマで外出するということが習慣化されており、公共交通機関の利用者は年々減少し続け、収支の悪化や行政負担の増大等によって生活交通の維持・確保が厳しさを増している。

そこで当市では、クルマに過度に依存した交通状況から脱却し、公共交通の利用拡大を実施するため、平成 23 年から勝山市生活交通地域協議会を設置し、勝山市に適した交通施策・運行スタイル等の研究を行ってきた。その中で、フルデマンド運行を実施する三重県玉城町や新潟県三条市を視察し、乗降調査や福井大学と連携した住民意識調査等の実施、また、地区毎に意見交換会を実施するなど、現状把握や要望等を精査した。

平成 27 年 10 月にコミュニティバス等の補助協定期限を迎えるのに合わせ、これまでの研究や意見聴取の内容を踏まえ各路線の大幅な運行の見直しを実施した。また、路線バス事業者についても、勝山市の公共交通の活性化実現に向けて、地域住民の意見等を踏まえながら、適時運行計画の見直しを行うこととしている。

本計画に登載するフィーダー系統は、平成 27 年 10 月にダイヤ・ルートを変更した路線・系統であり（平泉寺・猪野瀬予約便においては平成 29 年 4 月 1 日に時刻を変更）、個別の目的及び必要性は別紙 1 のとおりである。

※ 上記は、平成 30 年度から平成 32 年度までの事業期間に係る内容を記述したものであり、以下の記述及び添付書類についても同様である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

●北郷予約便

①平成 30 年度から 32 年度までの年間利用者数を下表のとおりとする。

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
①年間利用者数	4,050 人	4,100 人	4,150 人

●平泉寺・猪野瀬予約便

①平成 30 年度から 32 年度までの年間利用者数を下表のとおりとする。

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
①年間利用者数	3,850 人	3,900 人	3,950 人

(2) 事業の効果

●別紙 2 のとおり

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者

●地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1 (H30～32 年度分)」のとおり。

●運行系統の概要、運行予定者の決定方法等は下記のとおり。

①路線図及び②時刻表

	路線図・時刻表
北郷予約便	別紙 3 を参照
平泉寺・猪野瀬予約便	

②運行事業者の決定方法…別紙 4 のとおり

③運行予定期間

- 北郷予約便 : 平成 29 年 10 月 1 日～
- 平泉寺・猪野瀬予約便 : 平成 29 年 10 月 1 日～

④既存交通や地域間交通との関係や整合性、新規性等を説明した資料…別紙 5 のとおり

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

●地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 2 (H30～32 年度分)」のとおり

5. 別表 4 の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】

該当なし

6. 別表 4 の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】

該当なし

7. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】

●地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」のとおり

8. 車両の取得に係る目的・必要性

該当なし

9. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果	
該当なし	
10. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者	
該当なし	
10-2. 地域公共交通確保維持事業（車両減価償却費等国庫補助金部分）に要する費用の総額、負担者及びその負担額	
該当なし	
11. 協議会の開催状況と主な議論	
●平成 23 年 6 月 27 日（第 1 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市生活交通地域協議会設立 ・勝山市の公共交通の課題について協議 ・新交通システム研究部会の設置
●平成 23 年 8 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システム研究部会による先進地視察 （三重県玉城町、コンビニクルシステム）
●平成 23 年 11 月 22 日（第 2 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システム研究部会の先進地視察報告 ・勝山市生活交通に関するアンケート調査について （福井大学の協力を得て実施）
●平成 24 年 5 月 10 日（第 3 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市生活交通に関するアンケート調査結果報告 ・バス利用者聞き取り調査の実施 （7 月に全路線で乗客に聞き取り調査） ・バス交通に関する地区意見交換会の開催 （7 月～10 月／市内 10 地区で意見交換会を実施）
●平成 24 年 7 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システム研究部会による先進地視察 （福井県高浜町、コンビニクルシステム）
●平成 24 年 7 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システム研究部会による先進地視察 （新潟県三条市、タクシーデマンド）
●平成 24 年 9 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システム研究部会による先進地視察 （福井県あわら市、タクシーデマンド）
●平成 25 年 1 月 22 日（第 4 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システムの研究結果報告 ・勝山市ではフルデマンドの実施には時期尚早であり、現行の交通体系の再編による利便性の向上を目指すことを決議・荒土と野向地区で区域運行の実証実験を検討。
●平成 25 年 5 月 13 日（公共交通会議）	<ul style="list-style-type: none"> ・7 月 1 日からの荒土と野向地区で区域運行の実証実験を協議、合意
●平成 26 年 2 月 20 日（公共交通会議）	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺各地区への区域運行の導入を協議。
●平成 26 年 7 月 2 日（第 5 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部でのコミュニティバスの運行方法（車両の追加、便数の増加）について協議。 ・協議会での案を基に地区意見交換会を実施。 （9 月～1 月／市内 10 地区 2 団体と意見交換会を実施）
●平成 27 年 3 月 3 日（第 6 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区意見交換会の結果報告 （中心市街地のコミュニティバスの車両の追加・増便について、周辺部への区域運行の導入を協議、承認） ・勝山市生活交通に関するアンケート調査結果報告 （福井大学の協力を得て実施）
●平成 27 年 6 月 2 日（第 7 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・新路線での運行について協議、承認
●平成 28 年 6 月 28 日（第 8 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該生活交通確保維持改善計画について協議、承認
●平成 29 年 3 月 22 日（書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該生活交通確保維持改善計画の変更について協議、承認
●平成 29 年 6 月 5 日（第 9 回）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該生活交通確保維持改善計画について協議、承認

12. 利用者等の意見の反映

- 地区単位での意見交換会を実施した。(平成24年度と平成26年度の2回) その中で福井勝山総合病院や勝山温泉センター水芭蕉(市営温泉施設)、湯ったり勝山(市営入浴施設)への乗り入れについて要望が多かったため、コミュニティバスを南部と中部の2車両体制として乗り継げるように配慮した計画とした。また、周辺地域部分では利用者の高齢化により、バス停をさらに細かく設置できないか等の意見が多く、車両の小型化・デマンド方式による区域運行を導入するに至った。
- 福井大学と連携し、平成23年度と平成26年度に生活交通に関するアンケートを実施した。平成23年度のアンケートでは勝山市内から無作為に抽出した2,500世帯にアンケートを実施し、現行の利用状況やバスサービスに対する価値評価等を実施した。また、26年度の調査では既に区域運行のデマンド交通を実証している荒土・野向地区と、これから導入する平泉寺・北郷地区を対象に意識調査等を実施した。
- 平成24年度には、1週間連続で市内を走る全路線・全便に調査員を乗車させ、利用目的や利用頻度等の聞き取り調査を実施した。利用者は高齢者が多く、通院・買い物等の目的が多かったが、入浴施設や遊技場といった娯楽施設への利用者が多いこともわかった。

13. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	福井県総合政策部交通まちづくり課
関係市区町村	勝山市市民生活部、勝山市建設部、勝山市教育部、勝山市商工観光部、勝山市健康福祉部
交通事業者・交通施設管理者等	京福バス株式会社、勝山交通株式会社、大福交通有限会社、えちぜん鉄道株式会社、福井県勝山警察署交通課、奥越土木事務所勝山維持管理課
地方運輸局	中部運輸局福井運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福井大学大学院教授、元中部運輸支局静岡運輸局長、勝山市区長連合会、勝山市高齢者連合会、勝山市民生児童委員協議会、福井県交通運輸産業労働組合協議会

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 勝山市元町1丁目1番1号

(所 属) 勝山市市民生活部市民課

(氏 名) 石田 剛士

(電 話) 0779-88-8104

(e-mail) koutu@city.katsuyama.lg.jp

目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み予定

平成 29 年度 of 取組み予定

①勝山市内バスの時刻表・乗り換え等検索サービスの開始（ナビタイム）

バスの乗換や停車駅、運行情報など、バスに関する様々な情報を一度に見ることができるアプリに時刻表や運賃表のデータを提供し、スマートフォンやタブレットで検索できるサービスを開始する。（平成 29 年 7 月サービス開始予定）

②マイ時刻表作成サービスの開始（「ケア・ブレイクかっちゃま」との連携事業）

ケア・ブレイクかっちゃま（高齢者ケアに関するニーズを医療、介護、福祉の分野だけでなく建築、商業などの事業者や市民も巻き込んで掘り起こし事業化を目指している任意団体）と連携し、いつも利用する停留所や区間、時間帯の自分専用の時刻表を作成するサービスを開始する。（平成 29 年夏開始予定）

③高齢者運転免許自主返納支援事業との連携強化

公共交通機関の利用方法等を PR し、運転免許自主返納者の増加を図る。

④バスの乗り方教室の実施

高齢者団体やバス運行事業者と連携し、バスの利用促進を目的としたバスの乗り方教室を実施する。（交通安全教室などの行事と共催）

⑤病院等専用時刻表の作成

市内の病院等と連携して専用の時刻表を作成し、病院等利用者の利便性の向上と利用促進を図る。